

7月も役立つ講座がいろいろ!

子育てリフレッシュサロン

◆7月13日(木) 10:00~11:30
 場所: 参画センター学習研修室 3
 参加費: 無料
 託児: あり、無料(1週間前までに要予約)



摂食障がい家族の会

◆7月15日(土) 13:30~15:00
 場所: 参画センター相談室
 参加費: 無料



シングルマザーの会

◆7月17日(月・祝) 13:30~15:00
 場所: 参画センター学習研修室 3
 参加費: 無料
 託児: あり、無料(1週間前までに要予約)



知ってる?

男女共同参画のキーワード

<男女格差 過去最低 125位>

(日本 G7・アジアで最下位)

世界経済フォーラム(WEF)は、各国の男女平等度調査対象を順位付けした「男女格差(ジェンダーギャップ)報告」を6月21日に発表した。日本は調査対象の146ヶ国中、125位だった。前回2019年の121位を下回り、過去最低の順位。先進国7か国(G7)では、79位のイタリアに大きく引き離されている。東アジア・太平洋地域でも最下位だった。

全体を見ると、1位はアイスランド、2位ノルウェー、3位フェインランドで、G7の首位はドイツで6位、東アジア・太平洋地域では、ニュージーランドが4位でトップ。フィリピンが16位と上位に食い込んでいる。日本は、遅れている韓国(105位)、中国(107位)にも後れを取っている。

さて、ここで地元を目を向けてみよう。4月9日にあった香川県県議会選挙、高松市市議会選挙を見てみると、香川県議会での投票率は、40.18%、市議会選では42.26%となっている。投票率がここ何年も低く、どうしたら投票率が上がり、県民の関心が高くなるのが課題である。

女性のための就労相談

「仕事と家庭の両立について」
 ◆7月24日(月) 10:30~12:00
 講師: 森井 久美子さん(キャリアコンサルタント・参画センター相談員)
 場所: 参画センター学習研修室 1・2
 参加費: 無料 託児: あり、無料(要予約)



市民企画講座

「2023ヒロシマ被爆朗読の会@香川」

◆8月6日(日) 14:00~16:00
 講師: 櫻永美加さん
 (ヒロシマ被爆朗読の会@香川代表)
 場所: 参画センター学習研修室 1・2・3
 定員 40人 ★参加費 1,000円
 ★託児 あり、有料(1人500円)
 1週間前までに要予約
 ★企画・申込み先
 ヒロシマ被爆朗読の会香川
 (事務局 090-4535-4431)
 ★問い合わせ先 参画センター
 (087-833-2282)



ただ、女性議員の数が少しずつ増えていっている。県議会議員では、女性が9人、これは全体数の21.95%。高松市市議会議員では、女性が10人と全体数の25%となった。また、市議会では、史上最年少の25歳の男性議員が誕生し、少し若返りが出来た。少子高齢化社会と言われ始めてしばらく経つが、社会で活躍できる女性や若い方が増えていくのは、喜ばしいことだと思う。

男女格差報告の主な順位

2023	2022		2023	2022	
1位	1位	アイスランド	105位	99位	韓国
2位	3位	ノルウェー	107位	102位	中国
3位	2位	フィンランド	125位	116位	日本
6位	10位	ドイツ	127位	135位	インド
12位	6位	ルワンダ	131位	127位	サウジアラビア
16位	19位	フィリピン	146位	146位	アフガニスタン(全体最下位)
43位	27位	米国			
57位	94位	ブラジル			

(資料: 四国新聞)



6月の行事から



6/16

女性のための就労支援講座 働き方とお金の関係

参加者: 4人 場所: 学習研修室 1・2
 今回は、①働き方とお金の関係(税金・社会保険・配偶者控除はどうかかわるのか? 社会保険の負担と給付のメリット)②これからの私のキャリアと働き方(家計負担が重くなる時期は?)の2つを考えていきました。

(参加者の感想)
 「いろんな年代の人と話ができて自分を見つめ直すことが出来た」「税金、年金のこと、自分に合った働き方を知る機会になった」「具体的な説明や事例をあげて頂きわかりやすかった」



6/22

さんかく交流サロン 切り絵(平面)をつくろう! Part II

参加者: 12人 場所: 学習研修室 1・2
 講師: 槇野次郎さん(切り絵作家)
 今回は、バラ、菖蒲、紫陽花の3パターンから選んでもらった。紫陽花は細かい部分が多く、完成出来なかった人は、新しく立ち上がった切り絵同好会の開催までに家で仕上げて来ることになった。

(参加者の感想)「手先を使い、大変良いと思う」「すごく集中できました」「友達と一緒に楽しく出来た。カッターの使い方がわかった」「楽しくて、先が楽しみです」等。



6/23

こころとからだの健康講座 麺で腸活発酵の暮らし ステップアップ!!

参加者: 21人 場所: 学習研修室 1・2・3
 講師: 鎌野雅子(薬膳麹士・上級麹士・管理栄養士)
 「こうじ」「こうぼ」「こうそ」の違いや甘麹の作り方、発酵の代表格である味噌の効用などを学んだ。

(参加者の感想)
 「私も手作り味噌を作りたいと思いました」「健康に良い麹のお話をいっぱいありがとうございました」「今日頂いたお味噌も楽しみです」「食生活が素敵で真似してみたいと思いました」「楽しく学べました。日常に発酵食品を取り入れたい」



6/24

市民企画講座 主婦や主夫が変える社会 主夫が運営する非営利法人フードアレルギー・ジャパンとは

参加者: 12人 場所: 学習研修室 3
 講師: 割田隆之さん((社)フードアレルギー・ジャパン代表理事)
 講師がなぜこの団体を立ち上げたかについて、色々なエピソードを交えながら楽しくお話して頂いた。

(参加者の感想)
 「男性の主夫に、もっと聞いて欲しい内容だと思いました。」「自分にしかできない事、自分が実現したい事の質問に、すごく立ち止まり考えるきっかけとなった」「アレルギーに困っている人が増えたので、これからの活動を楽しみにしています」等。



トピックス

男女共同参画週間のパネル展が開催されました!

6月23日(金)~29日(木)まで、市民活動センターと男女共同参画センターで、参画週間のパネル展が開催されました。当センターの参加団体は11団体で、日頃の活動がよくわかる内容でした。

<アンケートより>

- 写真が多くて、わかりやすかった。それぞれの活動がよくわかった。
- 知らなかった活動がたくさんあります。わかりやすい展示でした。ありがとうございました。
- スーツの貸出し初めて知りました。特に女性はOLになったら使わなくなると思うので、助かると思いました。
- フードアレルギーのことは私も抱えているので、理解できました。様々な活動見習いたいです。
- 2025年開催に「デフリンピック」を初めて知りました。ママSUN'Sのパネルはかわいく作成しますね。
- 国民救援会のパネルで袴田さんのことがよくわかりました。勉強になりました。
- ガールスカウトのパネルは、印象に残りました。

